

七島藷の栽培及び工芸品製作の研究 ～新しい工芸品製作の取り組み～



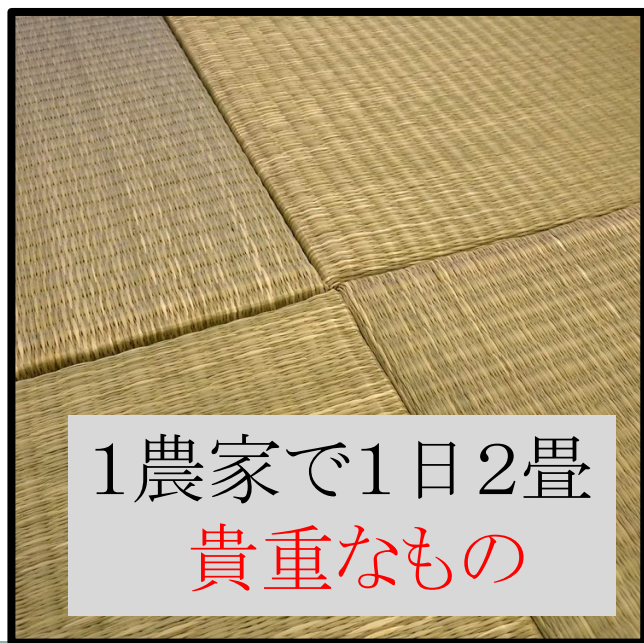
園芸ビジネス科
バイオ類型

七島藪

江戸時代の1660年頃か
ら国東半島で栽培利用



畳表に使用していた



平成25年5
月



FAOの世界農業遺産に
認定を受けた。



目的

雑草防止実験



工芸品製作



についての研究に取り組んだ

材料及び試験方法

(1) 実験材料

七島藪 (カヤツリグサ科)

(2) 試験期間

令和3年 4月～12月

(3) 試験場所

一号水田、バイオ実習室



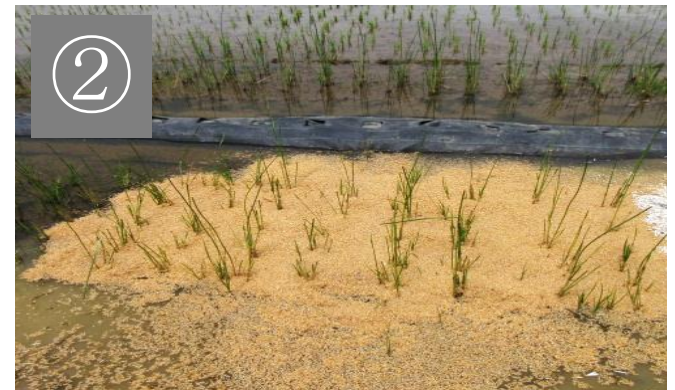
試験区

実験1 雑草防止実験

①無処理区(対照区)
防草処理をしない



②もみ殻区
もみ殻を厚さ3cmぐらい
にしてまく



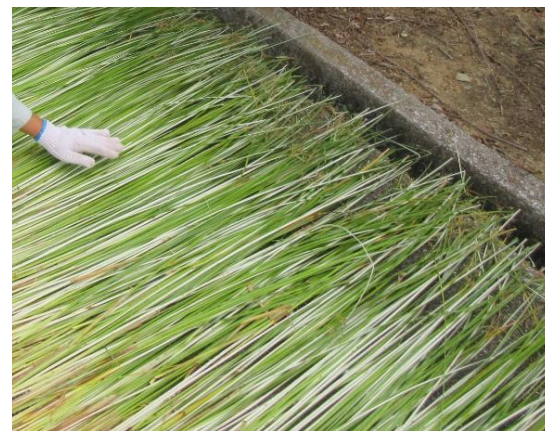
③シュレツダー区
シュレツダーにかけた
紙を敷く



試験経過

(1) 試験方法

- ①定植 6月8日
- ②雑草防止実験 6月30日、7月14日
- ③杭打ち・網張り 7月6日
- ④刈取り・乾燥 10月12日、19日



薬剤散布

～ベッコウ病～

ICボルドー、Zボルドー



7月13日
散布

～除草剤～

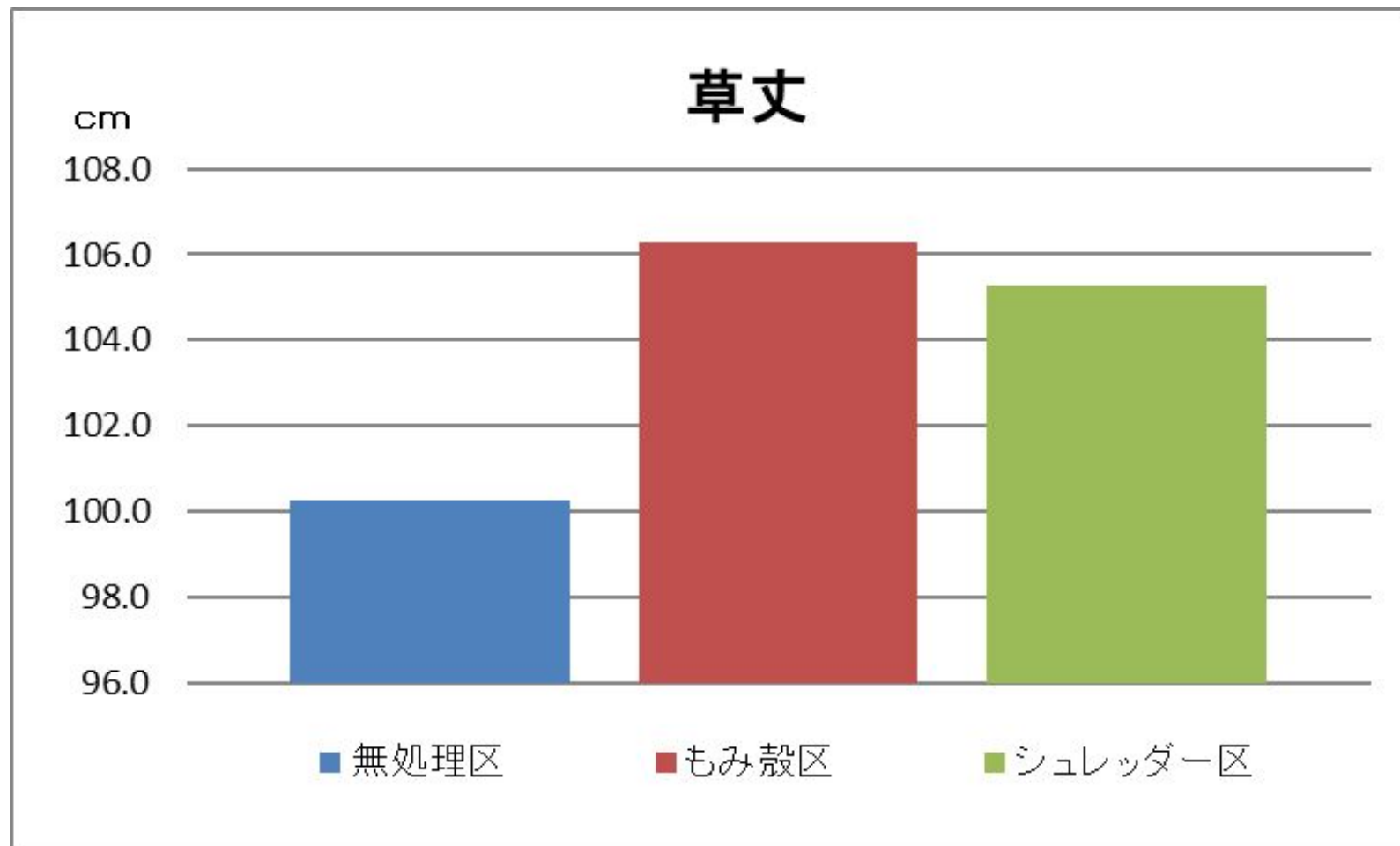
アーザラン液剤



6月8日
定植時に散布

調査項目・実験結果

①草丈

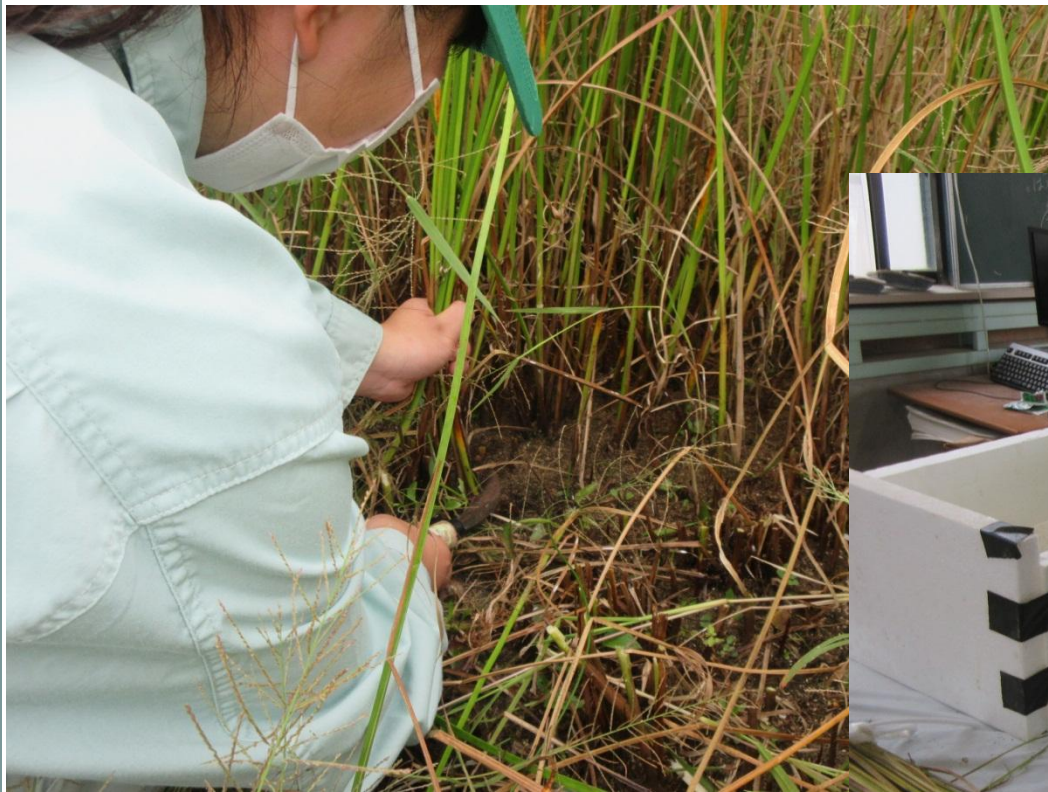


草丈調査の様子



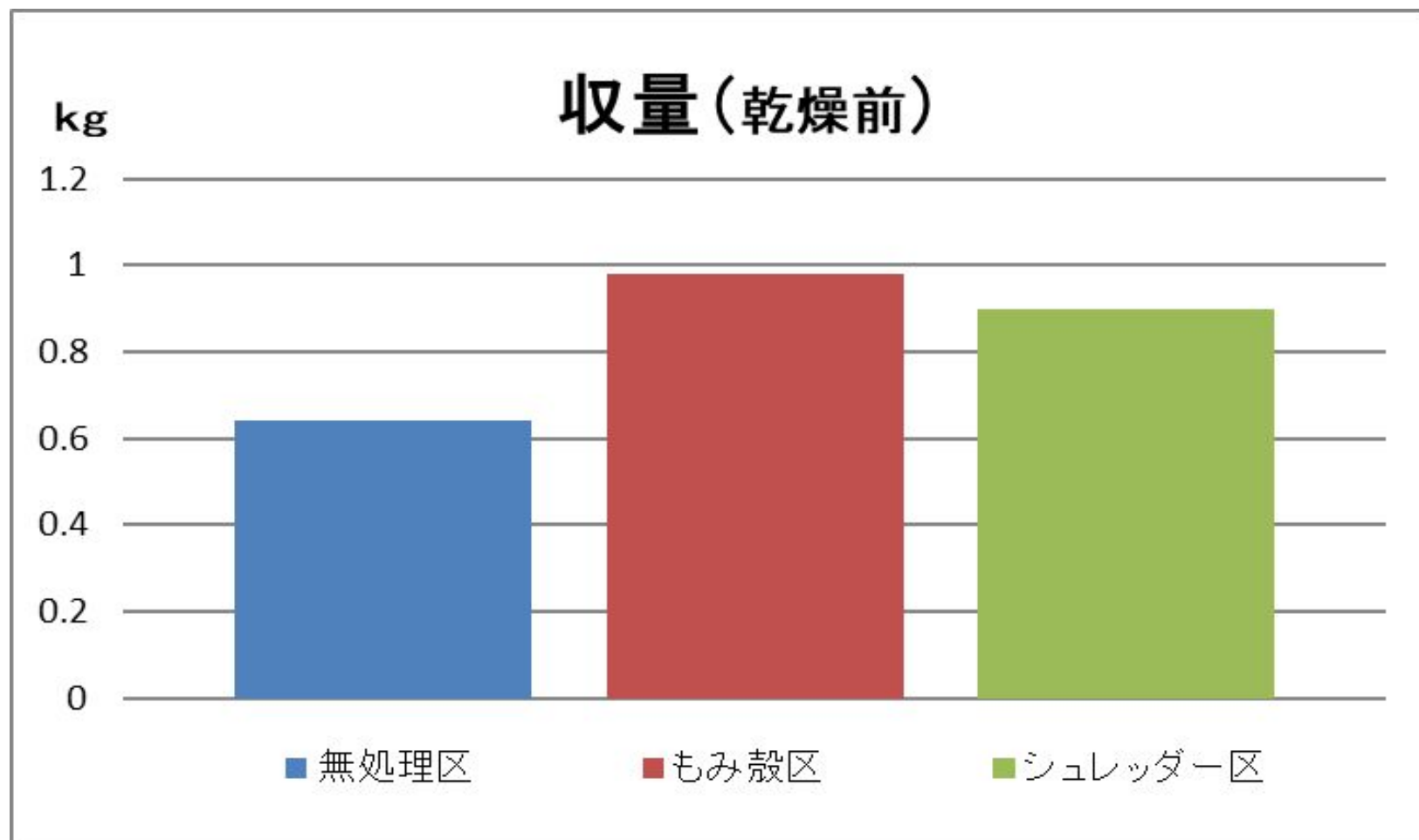
ものさしで地面から草丈の先端までの長さを測定した。

収量調査の様子



七島藪を収穫し、はかりで重さを測る。

②収量



雑草発生状況について



- ・イネ科の雑草が発生していたが、もみ殻区、シュレッダー区、無処理区ともに発生量に差があまりなかった。

実験 2 工芸品製作

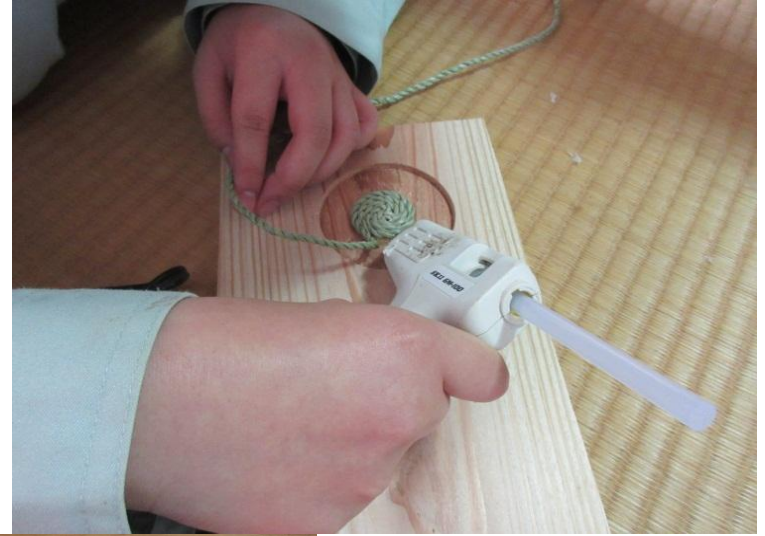
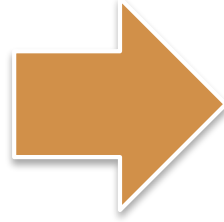
七島藪作家の岩切千佳さん

消えかけていた七島藪を、**現代的な視点**で広めていく。

くにさきの七島藪が再び**輝き**を取り戻している。



実験2 工芸品製作 (国東プレート)



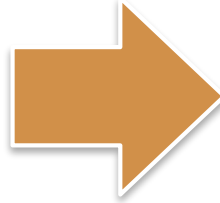
完成

実験2 工芸品製作 (リース)



完成

実験2 工芸品製作(いすの円座)

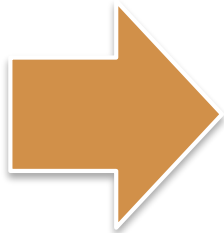


県庁で販売した



完成

実験2 工芸品製作(しめ縄)



完成

しめ縄



国東の市役所に持って行き飾ってもらった

考察

実験 1

無処理区は雑草が多く生えたことにより、栄養が行き届かず草丈が伸びなかった。それに比べ、もみ殻区やシュレツダー区は雑草が少し生えたが、もみ殻やシュレツダーを撒くことで保水性や通気性がよかったと考えられる。

実験 2

七島藪は乾燥するとちぎれてしまうため、水をこまめに吹きかけ、きつく編んだ方がきれいに見える。

まとめ

実験 1

草丈が高く本数が多く収穫できたのは、もみ殻区だったので、もみ殻区が生育に適していることがわかったが、雑草が生えたことによって、生育があまり良くないことがわかった。

実験 2

七島藪が乾燥するとちぎれてしまうので、こまめに水を吹きかけ、きつく編んだ方が綺麗に見えることがわかった。

今後の課題

もみ殻区が一番生育に適しているが、雑草が生えたことにより生育があまり良くないので、処理回数を多くする必要がある。

感想

今回、課題研究で国東の特産物である七島藪を栽培から工芸品製作まで携わることができて良かった。

そして、工芸品製作では、しめ縄などを作る体験をし、滅多に触れることがない七島藪に苦戦したが、いい作品を作ることができとても嬉しかった。